



編集:公立置賜長井病院広報委員会 発行:公立置賜長井病院 令和5年1月13日

新長井病院完成しました!

このたび、長井病院の改築工事がすべて完了し、全面的に供用が開始されました。近隣地域にお住いの皆様、当院に通院・入院しておられる皆様には、長期に渡り工事へのご理解とご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

これを機に、病院職員一同、さらなる地域医療の充実と病院が掲げる「安心と信頼の医療」を目指して参りますので、今後ともよろしく願いいたします。



長井病院の完成及びグランドオープン おめでとうございます



置賜広域病院企業団医療監 林 雅弘

新年明けましておめでとうございます。また足掛け4年に渡る新長井病院工事の完成及びグランドオープンおめでとうございます。平成 29 年度の計画立案から設計、実施工事など折々にご相談を受けながら、地域に求められる病院の機能を実現するために、ようやく新公立置賜長井病院が完成、グランドオープンしました。

旧病院は昭和57年建設で本体も老朽化し、配管設備や冷暖房設備に関しても問題が起きており早期の対応が求められていた所です。

今回の新長井病院では外来・病棟・人工透析・放射線・検査・薬局・リハビリ・栄養科など現場の希望を聞きながら計画を行いました。完成後は各現場で患者本位の使用勝手の良い病院になったものと思います。長井市及び関連した皆様にお礼を申し上げます。

今後の長井病院に求められている機能として現在は、初期及び維持期の外来・回復期入院・維持期血液透析・在宅訪問医療と多くがあります。特に置賜総合病院との強い連携で、ポストアキュートと言われる急性期医療から在宅へ繋げる回復期医療や、サブアキュートと言われる外来治療中の急性悪化時の入院加療の重要性が増しております。今後は訪問診療、訪問看護など在宅診療の充実も期待されるところです。長井市のみならず西置賜の医療の中心として今後の活躍を期待しております。

今後の課題として、人口減少に伴う患者数の減少、周辺医療機関との機能分担、医療資源の集約及び再配分などがありますが、ニーズの把握、情報の共有を通して地域医療に貢献していければと考えております。

住民の皆様が安心して受診できる信頼の病院を目指して置賜広域病院企業団として一致して努力して参りますので、これからも宜しくお願い致します。

「安心と信頼の医療、地域とともに歩む病院」の実現を目指して

公立置賜長井病院 院長 齋藤 秀樹



新年あけましておめでとうございます。

皆さん、今年のお正月も、ご家族と共に楽しくお過ごしのことと存じます。

昨年も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の波が複数回訪れ、大きな試練に直面した一年となりました。昨年末には第 8 波が襲来し今後インフルエンザとの同時流行も懸念されております。

ひきつづきこれまで行っていた、「3 密を避ける」、「マスクを常用する」、「ソーシャルディスタンスをとる」などを実践してくださるようお願いいたします。

令和 2 年から建設中で、昨年 5 月より仮使用中だった新長井病院が、残っていた正面玄関大庇(おおひさし)設置工事、外構工事も全て竣工し、長らくみなさまにご不便をおかけした駐車場も昨年 12 月に整備されました。

病院職員一同、気持ちも新たに地域のみなさまの健康を守るよう努めていきたいと思っております。

さて、今年うさぎ年です。干支の特徴を表す一節に「寅(とら)千里を走り、兎(う)はねる」というものがあります。まさに、長井病院にとりましても、昨年は、千里を走り抜けるトラのように新病院建設に向け邁進し、今年はウサギのごとくジャンプアップする 1 年にしていきたいと思っております。

今後とも、地域住民の皆さんから様々な形で応援してもらえるよう、そして患者さんだけでなく、患者さんを支えていくご家族の想いに応えられるような医療の充実とその実現に努めていく、「安心と信頼の医療、地域とともに歩む病院」の実現を目指していきたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



研修医奮闘記

研修医 船岡健太郎

公立置賜総合病院研修医の船岡健太郎です。10月の1か月間、長井病院で研修させていただきました。10月27日には、新病院になってから初めての避難訓練に参加させていただきました。まず、火災に気付いた職員が「〇〇(場所)で火事だー！」と叫んでいた点が、周囲の人間が速やかに状況を理解できる素晴らしい声かけだなと感銘を受けました。また、私は患者搬送をさせて頂きましたが、院外に出た瞬間に他の役割の職員が駆け寄って手伝って下さり、長井病院ならではの強いチーム力を感じました。そして、実際に訓練したからこそ見つかった課題もあり、とても収穫の多い避難訓練だったと感じました。

最後になりましたが、1ヶ月大変お世話になりました。



栄養科 メニュー紹介

当院では入院患者・外来透析患者(希望者)に対して食事の提供を行っております。病院食の栄養価は厚生労働省から発行される「日本人の食事摂取基準」や各種治療のためのガイドラインなどを参考に決められています。厨房の制約や病院ごとの条件などもあるため、栄養価の基準を守りつつ、制約や条件に沿いながら献立が考えられています。当院では公立置賜総合病院にて作成した献立を、3病院(公立置賜総合病院、公立置賜長井病院、公立置賜南陽病院)共通で使用しています。当院では米、しょうゆ、みそ、ハムやウインナー、一部の野菜などに置賜産・長井産のものを取り入れています。

昔は「病院食は冷たくておいしくない」といった声がよく聞かれた・・とのことですが、現在は温かいものは温かいまま、冷たいものは冷たいまま運べる配膳車もあるためおいしい温度で食べることができます。また、季節や行事に応じて献立を変更しています。入院中でも季節の移ろいを感じていただけるよう旬の野菜を献立に入れ込むといった工夫も行っています。(今回の写真は9月の敬老の日に提供した食事です。)



メニュー

- ・赤飯・銀だら照り焼き
- ・しんじょ旨煮・冷や汁
- ・大根おろし・ヨーグルト